



今日のテーマ



ブラジル

ブラジルレアルの動向

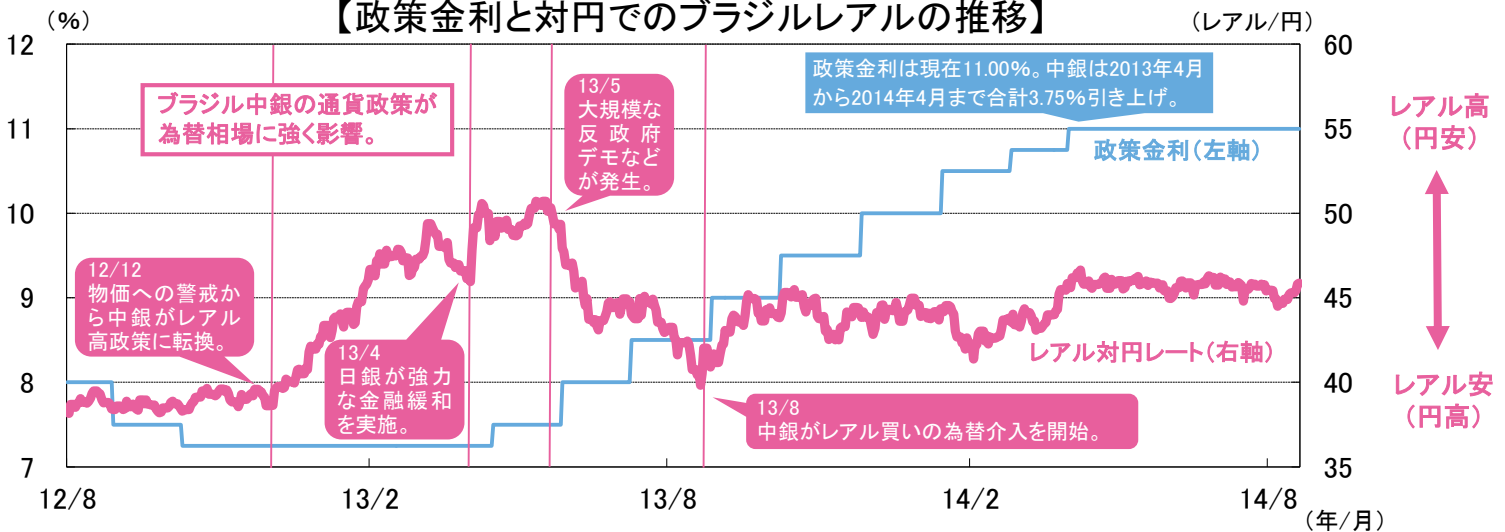
Q ブラジルレアルの見通しは？

A ブラジル中央銀行の高金利政策やレアル買いの為替介入に加え、日銀の強力な金融緩和もあり、レアルは円に対し底堅い推移が続きそうです。

- ブラジル中央銀行(以下、中銀)は、景気低迷に配慮しつつも物価上昇率の高止まりを警戒し、政策金利を高い水準に据え置いています。
- 消費者物価指数は、中銀の物価目標レンジ(年+2.5%~+6.5%)の上限近辺で推移しており、中銀は高金利政策を当面続ける見込みです。

- 中銀は、通貨安の物価への影響を抑えるため、毎営業日レアル買いの為替介入を実行しています。この措置は12月末までの予定ですが、延長される可能性があります。
- 中銀は高水準の政策金利やレアル買いの為替介入を当面維持すると見られ、レアルは円に対し底堅い推移が続きそうです。

【政策金利と対円でのブラジルレアルの推移】



(注)データの期間は2012年8月1日から2014年8月20日。

(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 政権交代や景気持ち直しへの期待も、レアルの支援材料

■ルセフ大統領は10月の大統領選挙で再選を目指していますが、これまでの景気低迷などが影響し、苦戦しています。政権交代による経済政策の刷新期待がレアル高要因になる場面も見られます。

■政府は景気に配慮し、公共投資を拡大しています。また、米国や中国の底堅い需要などにより、輸出に回復の兆候が見られます。こうした要因により景気が持ち直す場合には、レアルは中長期的にも底堅く推移すると思われます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。